

子ども達の放課後居場所の充実

取組の背景・目的

葛飾区では、小学校に通う子ども達が、放課後などに各小学校施設内で自由に遊びや学習、様々な体験活動をしなが、安全・安心に過ごすことができる居場所として、『わくわくチャレンジ広場 [放課後子ども教室事業] (以下わくチャレと言う。)] を区内の全 49 小学校で実施している。

そうした中、児童館事業として、これまでの児童館というスペースにこだわることなく、子どもが日々通う小学校で、放課後等も安全・安心に過ごし、多様な体験・活動が行えるようなきっかけづくりをするため、各児童館が近隣のわくチャレに出前児童館として参加している。

また、異学年の児童や児童館職員等、大人との交流を図り、自主性や社会性、創造性を養うとともに、児童館来館に繋げることも目的としている。

取組の概要

- ★実施場所 わくチャレメインルーム・体育館・校庭・空き教室等
- ★対象 わくチャレ登録の小学生
- ★頻度 年数回
- ★日程 毎月開催のわくチャレサポーター会議に出席し、日程調整を行い、決定する。
- ★職員体制 出前児童館に出張 2 名 その他は通常の児童館業務
- ★準備物 ●ストロー ●クリアファイル ●両面テープ ●マジックペン
(今回はストローグライダー工作の出前児童館の物品)
- ★実施方法
 - 利用者
 - ・クリアファイル大小 1 枚ずつを職員から貰い、1 枚ずつにマジックペンで絵を描く。
 - ・絵を描いた後ストローにマジックペンで名前を書く。
 - ・ストローにクリアファイルを付ける。
 - ・ストロー先端にビニールテープを巻く。
 - ・ペンを片付け、完成したグライダーを飛ばして遊ぶ。
 - 職員
 - ・作り方の説明を行い、クリアファイル大小 1 枚ずつ配布する。
 - ・絵を描き終えた人からストローを配布し、名前を記入するよう伝える。
 - ・両面テープを剥がし大きいクリアファイル、下に小さいクリアファイルを付けるよう伝える。
 - ・ビニールテープの補助を行う。
 - ・児童同士の衝突などで怪我が起きないように声掛け見守りを行う。

工夫点・留意点

- ・事前にわくチャレメインルーム等にポスターを掲示して周知を図る。
- ・児童館来館の児童にも開催内容を伝える。
- ・児童館に興味を持ってもらえるように子ども達からの企画を行い、来館のきっかけとする。
- ・わくチャレ参加の目的である安全・安心な遊びや過ごし方も保障して、楽しく出前児童館に参加できる環境を作る。



取組の効果

- ・一人で参加している児童に対しても楽しい時間を共有することで打ち解け、仲間作りにつながる。
- ・どのように飛ばしたら、よりよく飛ばすことができるかを考え、納得いくまで、やり直す等意欲的に取り組んでいた。
- ・参加した児童は「次回の出前児童館はどんな事をするの？」などととても楽しめたようであった。
- ・興味がないことも意外にやってみたら楽しかったという経験が次回も参加しようという気持ちになり、児童館来館にもつながる。
- ・参加後は、「よく飛んだね」などお互いをほめあったり、子ども達同士の関わりが深まる場となっていた。

課題・今後の展開

- ・普段のわくチャレは、見守りを行う児童サポーターと参加している子どもたちとで関わりが少ないが、普段子どもと接している児童館職員が参加することで、子どもたちが大人との関わりを経験し、参加児童全員で楽しめる環境を作ることができる。その中で、子ども達も自分の意見や気持ちを大人に伝えられるようになる。
- ・そのためにも地域の方々である児童サポーターと日々交流を持ち、わくチャレに出前児童館として参加することがとても大切である。
- ・児童館利用の小学生に対しても毎日行っている工作や遊びを充実させ、来館したらとても楽しかったという経験をさせていく。
- ・その都度、職員や子ども達の意見等を取り入れ、より良い方向へ展開していく。